

*College for
International
Co-operation and
Development*



Student Handbook (Japanese)
-Practical Information for Students-

目次:

Section 1 - 到着前

まずはじめに	3
入国審査（パスポート、学生ビザ申請について）	3
犯罪経歴（警察）証明書の取得	3
CICD までのご案内	4

Section 2 - 第一歩

規約	5
CICD での登録	5
プログラム／スタッフ／チームメイト	6
出席	7
連絡先の確認	7
苦情と訴え	7

Section 3 - 基本情報

CICD について～場所, DRH スクール, 施設～	7
イギリス文化	11
気候と衣類	12
運転	12
自転車	13
電気・電圧	13
崇拝の場所	13
郵便局	13
公衆電話と携帯電話	14

Section 4 - 健康と安全

学生と法律	14
安全, 危険と事故	14
国民健康保険（NHS）	15
予防接種	16

Section 5 - 学習システム・コンピューター・修了証書

CICD の学習システム	17
コンピューター&IT	17
修了証書	18

Section 6 - 連絡先

Section 1 – 到着前

まずはじめに -Contact and Information-

このガイドブックでは、CICD プログラムに参加するにあたり、到着前に関する注意事項、準備とその他についての必要事項を明記しています。

こちらをよくご一読の上、プログラムや準備・到着について何かご質問／ご相談がありましたら、広報担当者または担当の指導教員までご遠慮なくお問い合わせ下さい。

入国審査 -Immigration-

日本人を含め EU 国籍以外の方は、イギリス入国にビザが必要となります。そのため、イギリスの入国審査についての規則や正確な情報を知っておくことが重要になります。

1) パスポート -Passport-

プログラム期間中+6ヶ月間有効なパスポートが必ず必要となります。

2) ビザの申請について -How to Apply Visa-

日本人の方は、6ヶ月以内滞在の場合は学生ビザ取得は義務付けられておりませんが、アフリカ／インドへの派遣日がずれ込み、6ヶ月+1~2週間滞在する可能性があるため、学生ビザ取得をお勧めいたします。

ビザ申請受付は渡航希望日の3ヶ月前から可能であり、ビザ申請から取得までのお時間には、1週間~3週間のお時間を必要といたします。特に東京・大阪センターでの申請受付は完全予約制となっており、予約が取りにくい場合がございます。そのため、お早目のご準備をお勧めいたします。

ビザ申請方法に関しては、下記の英国ビザ申請センターのウェブサイトをご参照下さい。特に学生ビザ申請方法・必要提出書類の注意事項などは定期的に変更されますので、各自で責任をもってよくご確認のうえ、申請手続きを開始して下さい。

○英国ビザ申請センター（日本語）【<http://www.vfs-uk-jp.com/japan/index.aspx>】

また、イギリス学生ビザ申請に関して、下記のウェブサイトも必ずよくご一読下さい。

○駐日英国大使館（日本語）【<http://ukinjapan.fco.gov.uk/ja/>】

○UK Border Agency Visa Service（英語）【<http://www.ukvisas.gov.uk/en/>】

犯罪経歴（警察）証明書の取得 -Police registration-

ナミビア／南アフリカ派遣ご希望の方は、ビザ申請時にこちらの書類が必ず必要となります。

こちらの書類は、日本の警視庁・道府県警察本部で取得可能です。滞在の都道府県によって、お手続きが若干異なる場合がございますので、必ず、事前にお問い合わせ下さい。なお、下記の外務省ウェブサイトもご参照下さい。

○外務省【<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/shomei/index.html#3>】

こちらの書類は有効期限が6ヶ月以内のものとなります。したがって、ガイアプログラムに参加し、イギリスCICDに6ヶ月以上滞在する場合は、イギリス到着後にロンドンの大使館で取得していただくことになります。ガイアプログラムに参加せず、イギリスCICDに6ヶ月間だけ滞在の方は、こちらを必ずご取得下さい。

注! イギリスでの犯罪経歴証明書申請・取得には、日本人の方は通常2ヶ月以上のお時間が必要となります。ナミビア・南アフリカ派遣ご希望の方でイギリスでお手続きをされる方は、ご自身で申請・取得準備をプログラム開始と同時に行ってください。

CICD までのご案内-Getting to CICD-



CICD から一番近い都市は、Hull (ハル) となります。イギリスにご到着した際は、空港からこちらのハルまでお越し下さい。

1) 到着空港について

ご到着空港ですが、日本からの場合ですとロンドンへの航空便が多く、航空券も比較적으로安く入手することが可能です。

ハルから最も近い空港はHumberstone (ハンバーサイド) という空港ですが、こちらは主流空港ではなく、航空券を取得なさる際に他の主要空港と比べましてお値段が高くなる傾向がございます。ハルに近い空港ご到着をお探しの場合は、まずManchester (マンチェスター) 空港をお調べになり、ハンバーサイド空港到着の航空券のお値段を比較した上でご購入されることをお勧めいたします。

2) イギリスの交通機関

空港ご到着後は電車/長距離バスをご利用の上、ハルまでお越し下さい。イギリスの交通機関(電車/長距離バス)に関しましては、下記ウェブサイトをご参照下さい。

イギリスの場合、お早めにチケットをオンラインでご購入いたしますと、大変お求め易くなっております。したがって、事前のご購入をお勧めいたします。

○National Rail (電車) 【<http://www.nationalrail.co.uk/>】

○National Express (バス) 【<http://www.nationalexpress.com/coach/index.cfm>】

○Tube (ロンドン地下鉄) 【<http://www.tfl.gov.uk/>】

注! ハンバーサイド空港ご到着の場合は、ハルまではタクシー/市バスご利用ですぐにご到着できます。

3) Hull から CICD へ

①CICD からのお出迎え

ハルから CICD までの行き方ですが、事前に広報責任者にハルご到着日時（21：30 まで）をお伝えいただけましたら、CICD からお出迎えすることが可能でございます。

※CICD の電話番号（Tel:01964631826）

②タクシーのご利用

タクシー乗り場がハル駅の出口にあり、時間を問わずいつでもご利用することが可能です。ご利用の際は、CICD の住所をお伝え下さい。また、費用は約£20～25 となっております。

③市バス+徒歩のご利用



市バスをご利用になる場合は、Hull 駅内にあるバス乗り場から乗車が可能です。

（写真左参照）

バス乗り場の 36 番から発車している「Withernsea」行きバスに乗車し（約 45 分）、バス停「Winestead」にて下車、左手にのびる細い道をさらに 20 分ほど歩くと右手に学校がみえてきます。費用は£2.85（2009 年現在）となっております。

※その他、日本出国前に必要なご準備について、別紙「日本出国前に必要なこと」と「お持ち物リスト」を併せてご参照下さい。

Section 2 - 第一歩

規約 -Rules and regulations-

CICD への入学を決定するとき、あなたは規約に従うことに同意します。そのため、プログラムやその他の必要事項は入学手続き前に議論され、特に入学書類記入と納金手続き以前の電話インタビューにて、あなたが疑問に思う点やその他について質問を行い、明確にする必要があります。

CICD での登録 -Registration at CICD-

CICD に到着した後の最初の説明会で、広報責任者 Marie Forell と最初のインタビューを行います。このインタビューでは、説明会を聞き終えた上であなたが持つプログラムに関する質問／相談を尋ねる機会でもあります。

インタビューの間では、パスポートのコピーを提供して学生ファイルの書式に記入する必要があります。

また、プログラム費用を支払っていない学生は、いつ費用を支払うかについての合意をこの場で得ます。CICD に到着してから 1 週間以内にこのプロセスを完了しない場合、追加の登録料金が課せられる可能性があることをご注意下さい。そして、CICD 到着から 2 週間以内にこのプロセスを完了しなかった学生は、CICD に滞在することは許されません。

注! プログラム費用は原則、CICD に到着する以前に支払いを済ませる必要があります。

1) CICD の記録保存とデータ保護について

学生の個人情報の一部は、機密個人データとして分類されます。これは政府の必要条件として集められ、CICD の機会均等方針の運営の良し悪しに関わりなく監視されます。

プログラム/スタッフ/チームメイト -The program, Staffs, Team mates-



あなたのプログラム、スタッフ、チームメイトは、多くの異なる人々から成り立つものです。私たちは、年齢、国籍、経験と意見が異なります。しかし、私たちには共通して 1 つのものを持っています。それは、他の人のために何か良いことをしたいということです。

CICD のスタッフは、とても異なる経験を持ちます。スタッフは CICD を開発インストラクターとガイア活動家の教育のため、

そして、開発インストラクターが彼らの目的である、世界の貧困地域で開発活動を行うという目標を達成することを確実にするために、自分の力をつぎ込むことを約束します。

あなたは参加者として自分の人生を他の参加者と共有し、日常生活の色々な作業を遂行してその一部を取り入れます。そして、みんなのために生産的な空気をつくるのが大切です。

各チームには、1 人以上の指定の指導教員がいます。あなたは自分の担当の指導教員を、プログラムの間に起こる問題を解決するための最初の接点と考えなければなりません。あなたが担当の指導教員の援助で問題を解決することができない場合は、あなたは指導教員陣のもう 1 人のメンバー、または学校長と問題を持ち出さなければなりません。



出席 -Attendance-

学生として、プログラムの学習週間の期間中は CICD に出席しなければなりません。CICD に在籍している間、全ての朝会、コース、プレゼンテーション、ミーティングと同様に時々行われるイベントに出席することが要求されています。

もしも Partnership 活動やその他の活動などで CICD の外に出る場合、出発日、期間中のコミュニケーションや CICD に戻ってくる日付について担当の教員と同意し、それを守る必要があります。

病気やその他の特別な事情で授業に出席できない場合は、担当の教員にできるだけ早く知らせなければなりません。病気で 6 日以上、授業を欠席する状態になったときには診断書を取得する必要があります、それを担当の教員に提示する必要があります。

連絡先の確認 -Contact information-

CICD の外でしばらく滞在するときは、非常事態が起きてもすぐに対応できるように、あなたのメールアドレスや携帯電話などの連絡先を知らせておくことは重要なことです。また、それと同様に、あなた自身が CICD の電話番号と住所を知っておくことも重要になります。

苦情と訴え -Complaints and appeals-

私たち CICD では、学生が不満を感じる状況が起こらないことを望みます。しかし、あなたがそういう状況に陥ったときには、担当の教員または学校長を通してそれを主張しなければなりません。

Section 3 - 基本情報

CICD について -About the CICD-



1) 場所

CICD は Hull 市から 15 マイル東部にある Winestead Hall という、小さな Winestead 村の外に位置します。最も近い村は Patrington (パトリングトン) と呼ばれ、ここにはいくつかの小さなお店や郵便局があります。

また、近くには Withernsea と呼ばれる海沿いの小さな町があり、約 6,000 人の人々が生活しています。

Withernsea には屋内プールを備えたスポーツ・ホール、2 つのスーパー・マーケットとその他、多くの小さな店があります。CICD から Withernsea に向かう途中には、高さ 38m の有名な内陸の灯台があり、現在は博物館として公開されています。



2) 建物の歴史

Red Hall Estate (現在の CICD) の最初の建物は 1762 年に建設され、それ以来、多くの変化を遂げました。18 世紀では、Red Hall Estate はこの地域で最も大きい地所のうちの 1 つでした。1890 年代にこの地所は Hilyard 家族によって売却され、1936 年に Winestead 病院設立のために Hull 社によって購入されました。その当時の建物は、純粋な安定ブロックによるものでした。

現在の建物の大部分は、病院だった頃に建設されました (1960 年代まで)。病院は 1980 年に閉鎖され、1990~1998 年までこの建物は、恵まれない若者と子どもたちを世話する学校として使用されました。

そして 1998 年には College for International Co-operation and Development (CICD) の校舎として使用されることになり、現在に至っています。

3) 提携校 DRH スクール

CICD は世界各国にある DRH スクールの 1 つです。DRH スクールは、詩人と教育の哲学者グルントビの考えの影響を受け、1884 年にデンマークで設立された伝統的學校 (フリースクール) を受け継いでいます。今日、デンマークには、短い/長いコースを提供している多くの Folk High School があります。これらは正規教育の一部というより、むしろ個人の自己啓発と一般教育の貢献に重点を置いた教育ということができるでしょう。

1970 年、一団の人々が Travelling Folk High School (デンマーク語: Den Rejsende Højskole-DRH- / 日本語: 旅する学校) を設立しました。

現在では、DRH スクールは世界各国に合計 13 つあり (デンマーク / 中国 / インド / ノルウェー / 南アフリカ / セント・ビンセント / イギリス / アメリカ合衆国)、International DRH Movementのもと、国際ボランティアプログラムを実施しています。

4) CICD の施設

① 学生の宿泊施設



マラウイ・ビルディング

ガイアプログラム参加者、訪問客の宿泊施設

モザンビーク・ビルディング

3月/9月チーム学生の宿泊施設

ナミビア・ビルディング

5月/11月チーム学生の宿泊施設



リビング・ルーム

※各ビルディングには、学生の部屋 (個室 / 相部屋)、トイレ・バスルーム、リビングルーム、ランドリー、キッチンとヒーター (冬のみ) が設置されています。

なお、宿泊施設でのインターネットの使用はできません。



キッチン



部屋



ランドリー

②スクール・ビルディング



指導教員のオフィス

DI 指導教員カリン、オーサーとガイア指導教員ウェンディ、IT 責任者アントニオのオフィスがあります。



食堂

飲み物（コーヒー、紅茶など）や食べ物（パンなどの軽食）が常時、好きなときに利用可能です。

この場所は多くの学生が集まって卓球をしたり、談話を行ったりする場所でもあります。



教室

Development Instructor プログラムの学生と、ガイアプログラム参加者のための教室があります。

各教室で朝会・学習活動が行われ、インターネットも使用することが可能です。

③チャイニーズ・エンバシー

ガイアプログラム参加者の寄宿学校（学習活動）、プログラム説明会など、大掛かりなプレゼンテーションの拝聴や映画の上映会が行われます。





④スポーツ・ホール

運動のための様々な道具があり、学生の中にはエアロ・ビックスやヨガなどを行う方もいます。

また、施設の裏にはバレーボール用のコートもあり、特に春～夏にかけて使用されます。

なお、こちらの施設は、24 時間無料で使用できます。

⑥プロモーション・オフィス

広報担当者のオフィスです。ファックス・固定電話の利用が可能です（イギリス国内のみ）。

国際電話カードをお持ちの方は、ここで国際電話をかけることも可能です。



⑤メイン・キッチン

調理とお皿洗いを行う場所です。調理とお皿洗いは当番制で行われており、各学生は 1 週間に 2～3 回の割合で行うことになります（2 人 1 組）。

お皿洗いは主に食器洗い機を使用します。

調理は主に 2 人で 2 時間かけて行います（朝食のみ 1 人 30 分程度）。ここでは、パンやケーキを作ったり、その他、様々な調理器具があります。



⑦30 エーカーの美しい敷地

Winstead Hall は田園地方にあり、敷地は 2～3 の指定建造物（時計台、壁に囲まれた庭と狩猟場管理人の小屋）を含みます。

私たち CICD では、これらの建物と敷地の環境管理の役割を引き受け、私たちの教育と日常的な活動とともに、その持続の助長を積極的に行います。



イギリス文化 -British Culture-

あなた自身を異なる文化の中におくという行為は、勇気を必要とすることです。しかし、それは独立を養い、新しい国際的な展望を経験する最高の方法の1つでもあります。あなたが英国で遭遇するかもしれない社会的な態度と文化的な挑戦のいくつかの序論は、ここにあると言えるでしょう。

1) 社会的な態度 -Social Attitudes-

英国での生活は、あなたが慣れているものと確かにほとんど異なるものです。「英国」の生活が何であるのかをいうことは難しです。なぜならば、英国で精神的な姿勢と展望は、人や地域によってずいぶん異なるからです。

英国は、居住者が多くの国と民族の背景から成り立つ、とても国際的な国でもあります。あなたが最初に英国に到着し、英国の人々が取る行為が祖国のそれと比較したとき、その多くの違いに気がつくかもしれません。また、あなたは、英国人が寛容であることに気づくでしょう。彼らは彼らができる範囲で助けることを好む性質なので、助けを求めることを恐れないで下さい。英国の人々は時々、少し内気なのか、親密な友好関係を確立することに時間かかる場合があります。しかし、彼らの多くは礼儀正しいので、明らかに友好関係の申し込みに応じます。また、それと同時に、英国人があなたの国の文化を知らない場合、あなたがそれを説明しない限り、彼らがあなたの必要性と重要性を理解しないということを忘れないで下さい。

英国の女性は通常、独立しているため同伴者なしで公的な場所に入ることに慣れていません。そして、男性と女性は自由にその場に混ざります。あなたは、身分証明証を法的に要求されませんが、いつも何らかの身分証明証（パスポート）を持つことは良い考えと言えます。

2) アルコール -Alcohol-

アルコールを飲むことは英国で一般的で、入手自由なものです。しかし、CICDの学生はプログラムの間、アルコールを飲むことが禁じられています。英国では、アルコールの代わりに清涼飲料を求めることは全く問題ないです。

3) 喫煙 -Smoking-

英国の多くの人々は、煙草を吸います。しかし、2007年7月に、パブ、クラブとレストランを含むイングランド全ての公的な場所で喫煙が施行されました。これはスコットランド、ウェールズと北アイルランドでも実施されています。

喫煙は屋外と個人の家で許されますが、多くの非喫煙者は喫煙の煙や臭いを不快に感じます。あなたが友人と飲食しているならば（特に誰かの家で）、タバコに火をつける前に、喫煙の許可を尋ねることがマナーだと言えるでしょう。

なお、CICDでは喫煙は外のみ許可され、屋内では厳しく禁止されています。

4) カルチャー・ショック -Culture Shock-

「カルチャーショック」は、人間が慣れ親しんできたものから離れ、異なる文化の国へ移ったときに多くの人々が経験するものです。おそらく最初にあなたが新しい国に来たとき、新しい人々に出会い、特にプログラムの開始ということもあってあなたは興奮しているでしょう。しかし、最初の熱意が徐々になくなったあと、全ての新しい経験はあなたを圧倒し始めるかもしれません！

あなたが最初に刺激的である感じたことは、奇妙で納得のいかないことにでもなりえます。そのとき、あなたは突然、自分の気持ちの変化と強い拒否反応を経験するかもしれません。そうするとあなたは、自分の家族や友人、これまで過ごしてきた場所に帰りたと思うかもしれません。

全ての学生が、何らかの形でカルチャーショックを経験すると言えます。それはまた、英国と似たライフスタイルをもつヨーロッパ諸国出身の人にでも言えることです。この体験は普通なこと、誰もが通る道でもあります。しかし、あなたが CICD 生活に慣れることが難しい場合は、友人や担当の教員に相談して下さい。

イギリスの気候と服装について -Climate and Clothing-

英国の人々は、天気について話すことで有名です。その理由としてはおそらく、英国では温かい日がほとんどなく、寒くて風の強い、雨が降る気候が続くからでしょう。平均温度は0度ですが、各月の気温の詳細は下記を参考にして下さい。

1月	5	7月	22
2月	6	8月	21
3月	10	9月	18
4月	13	10月	14
5月	17	11月	10
6月	20	12月	7

あなたが英国に到着するとき（特に9月下旬になるとすでに気温は寒いので）、暖かいジャンパーやコートをご持参することをお勧めいたします。また、多くの保温効果のある冬の衣類を必要とします。

お荷物になる場合は、英国到着後に購入することも可能です。英国には古着ショップがあり、オックスファームの古着販売などを通して、比較的衣類を安価に購入することが可能です。

車の運転 -Driving-

CICD にはいくつかの車、ワゴン車と小型バスを所有しています。これらを運転する場合は、下記の条件を満たしてはなりません。

- 25歳以上
- 運転免許（国際運転免許）取得者（小型バス運転はEU国籍者のみ可）
- CICD 運転テストの合格者

CICD の車を運転するとき、運転者は以下のことに注意しなければなりません。

- 運転前と運転後に車両をチェックする
- 業務日誌を完成させる
- 車の収容人数がオーバーしないことを確認する
- 全ての乗客がシートベルトを着用していることを確認する
- 車両で喫煙しない規則を守り、乗客もそれを遵守することを確認する
- 運転中の携帯電話の使用はしない

- 車の運転中に支払ったガソリンやオイルの領収書を管理し、費用を学校側から受け取る
- 全ての事件の報告(パンク、事故または故障など)
- 車の使用後は車内を清掃する
- 車の鍵を専用のボードに返却する

1) 罰金 -Fines-

英国で自動車運転を行う場合、駐車違反とスピード違反に注意しなければなりません。違反金は高価なもので、CICD では運転者に全ての罰金の責任を課しています。

自転車 -Bicycles-

あなたが自転車を使用するとき、道路用に適した道で運転することが求められます。CICD の外で自転車を使用するとき、あなたの使用する自転車の前頭に白い明かりと、赤いバック・ライトが備えられていなくてははいけません。特に赤いバック・ライトは夜間の乗車中に反射するため、安全性の面でとても重要です。また、その他の安全性のために、乗車中にサイクル・ヘルメットを使用することが忠告されます。英国では、サイクル・ヘルメットを使用せずに乗車できるという特別な標識がない限り、それ以外の舗道で乗車をするべきではありません。

また、アルコールやドラッグを飲酒・使用した後に自転車を運転することは禁止されており、発覚した場合は捕らえられ、厳しい罰を受けることとなります。

電気・電圧 -Electricity-

英国の電圧は 240 ボルト/50 サイクルとなります。そして、多くの建物は 13 アンペアの四角いピン・プラグのソケットを備えています。そのため、日本製のノートパソコンなどを使用する場合は BF タイプの変換プラグが必要となります。

崇拝の場所 -Places of Worship-

CICD のすぐ近くには、異なる宗教に応じた崇拝できる多くの場所があります。

- | | | |
|-------|---|--|
| 仏教 | ⇒ | Khedrupje Buddhist Centre, 196 Coltman Street, Hull |
| キリスト教 | ⇒ | Methodist Church, Greenshaw Lane, Patrington
Sacred Heart Presbytery, 280 Southcoates Lane, Hull
Saint Patrick' s Church, High Street, Patrington
Withernsea United Reformed Church, Queen Street, Withernsea |
| ユダヤ教 | ⇒ | Hull Jewish Community Care, 331-337 Anlaby Road, Hull |

郵便局 -Post Offices-

CICD から最も近い郵便局は、Patrington (パトリングトン) にあります。郵便局では、郵便切手、テレホンカード、航空書簡形式、登録された封筒、郵便為替、海外為替、その他、広範囲なサービスを提供します。

公衆電話 -Public Telephones-

多くの駅や郵便局、通りには公衆電話または「ペイ・ホーン」が設置されています。これらのうち、使用するのにコイン（£1、50p、20p）しか受け付けられないもの、テレホンカードやクレジットカードも受け付けるものなど色々なものがあります。テレホンカードは郵便局や最寄の小売店で購入が可能で、国際電話をかけるために必要なカードもここで購入することが可能です。

役に立つ電話番号:

オペレーター(英国) 100

オペレーター(国際) 118 505

案内サービス(英国) 118 500

案内サービス(国際) 118 505

携帯電話 -Mobile phones-

CICD の多くの学生は、英国で携帯電話を購入します。学生は、プリペイ・カード式の携帯電話を使用しています。あなたが携帯電話会社を選択するとき、CICD においても電波を送受信できるものであるかをよく確認のうえ、選択する必要があります。

Section 4 - 健康と安全

学生と法律 -Students and the law-

外国人学生は英国の市民と同じ法律の扱いを受け（出入国管理、投票と市民権を除く）、法律と同じ市民権と保護を保証されます。

安全、危険と事故 -Safety-

CICD と周囲の地域は安全な場所です。下記の英国文化協会「安全第一～外国人学生のための個人安全ガイド～」のウェブサイトをご参照下さい。

○英国文化協会（英語）【<http://www.britishcouncil.org/educ-safety-first.pdf>.】

CICD キャンパスは、例えば地元地域の人々など、誰でも出入りすることが可能です。

あなたの協力は、私たちが全員の安全を確実にすることを助けます。あなたは自分自身と、そして、他の人々の安全と心の平和の責任を共有していることを自覚して下さい。

CICD は、あなたの安全について本当に気をつけています。一番気をつけなければならないことは、事故でしょう。あなたには安全に振る舞い、安全問題に関して全ての通知と声明を読んで理解し、それに対応する義務があります。あなたが住む建物で、火事や応急手当、その他の非常事態についての健康と安全に関するハンドブックと通知を読むことはとても重要です。

1) 危険な状況や不審物の報告 *-Reporting potentially hazardous situations-*

あなたが危険な状況や不審物を発見したときは、すぐにスタッフのメンバーに申し出てください。

2) 非常事態（火事／ガス漏れ／化学流出など）の報告 *-Reporting emergencies (fire, gas leaks, chemical spills, etc.)-*

非常事態となったときは、まず安全性が確保された場所に避難し、安全性が確保されてから後に担当のスタッフに電話をして報告して下さい。

3) 火事 *-Fire-*

火事を発見した場合は火災報知器を押し、すぐにスタッフと連絡をとる必要があります。

日中・深夜を問わず、どのような時刻であれ、あなたが火災報知器を聞いた場合は、速やかに最も近いルートに沿ってその建物を出なければなりません。建物からの避難の際は全てのドアを閉め、メイン・キッチンの外で集まり、スタッフが中心に全員が安全に避難したかを確認するために点呼をとります。スタッフから指示があるまでは、決してもとの建物に戻ることは許されません。

注 1! 建物内・部屋での喫煙は許されておらず、喫煙を行った場合はその煙が各室に設置されている火災報知器を起動させます。また、キャンドルでも同様の注意が必要となります。

注 2! 建物の非常出口を日頃から確認し、自室から非常出口までのルートを各自、確認しておくことが必要です。

4) 怪我や事故の報告 *-Reporting accidents involving injury-*

救急車を必要としない怪我・事故をした場合でも、速やかに担当の先生に報告して下さい。救急車を必要とする重傷の場合、すぐ近くに居るチームメイトまたはスタッフが救急車の手配を行う必要があります。もし CICD キャンパス外で救急車の要請が必要な事態が起きた場合は、999 にダイヤルして下さい。

国民健康保険 (NHS) *-National Health Service (NHS) Treatment-*

英国で6ヵ月以上滞在する大部分の学生はNHSの対象となり、医師の診断を無料で受けることが可能です。また、出身国によっては英国との相互協定の関係上、6ヶ月以内のプログラムに参加する場合でもNHSの治療を受ける資格が与えられています。しかし、全ての国とこの協定が結ばれているわけではないため、渡英前に自国の保健衛生当局・ブリティッシュ・カウンシルのオフィスでアドバイスを求めて下さい。NHSの対象外となる方は、出国前に医療保険に加入することをお勧めいたします。

また、出国前に健康診断を受け、持病のある場合は適切な処置を受けておくことを強くお勧めします。処置が必要な既存の症状については、英国のNHSの規約上、無料で治療を受けることができない可能性があるからです。詳細については、下記のNHSウェブサイトをご参照下さい。

○NHS 「Are you coming to the United Kingdom to pursue a course of study?」

【http://www.dh.gov.uk/en/Healthcare/Entitlementsandcharges/OverseasVisitors/Browsable/DH_074400】

1) 費用 -Charges-

NHS 対象者は費用が無料となりますが、一部の救急・緊急処置にはいくらかの費用がかかる場合があります。また、NHS 対象者であれ、処方された医薬品は支払う必要があります（処方箋 1 種類の薬につき £6.10）。薬を長期にわたって服用する際は、前払い証明書（Prepayment Certificate）を購入した方が経済的などときもあります。しかしながら、収入が低い場合は、無料で処方が認められることもあります。そして、注意しなければならないことは、歯医者での診察・処置は有料となっています。

2) 診療所での登録 -Register with a Doctor-

あなたが体調が悪い・軽い怪我をしたときなど、NHS を通して医師の診察を受けるためには、事前に NHS 登録手続きが完了している必要があります。そのため、英国に到着し次第、速やかに地元の医師に登録を行って下さい。医師は一般開業医（general practitioners, GPs）とも呼ばれています。

CICD から最も近い診療所は、車で 5 分の Patrington（パトリングトン）にあります。CICD では、Patrington 診療所に登録するための専用の登録用紙を用意しています。あなたが CICD に到着してすぐ後、あなたはこの登録用紙に記入して診療所に提出し、登録を完了する必要があります。この手続きはとても大切です。なぜならば、あなたが例えば風邪などの症状で医師の診察を必要とするとき、この登録が完了してなければあなたは医師の診察を受けるためのアポイントメント（予約）すらも取ることができないからです。

診療所での登録手続きが終了すると、後日に個人のアイデンティティ・コードが明記された NHS 医療カードが郵送で送られてきます。

注！ 診療所での登録手続きには、必ず CICD の入学許可証とパスポートを持参して下さい。

予防接種 -Vaccinations-

アフリカ／インドへの派遣にあたり、いくつかの予防接種が必要となります。出国前に担当の医師と相談し、予防接種を行うことをお勧めいたします。詳細は、下記の厚生労働省「海外旅行者のための感染症情報」ウェブサイトをご参照下さい。

○厚生労働省 【<http://www.forth.go.jp/index.html>】

なお、予防接種はイギリスでも接種可能です。イギリスでこれら全ての予防接種を接種した場合の費用は、約 £150～200 となっております。

1) 必要となる予防接種

黄熱病／腸チフス／A 型肝炎／B 型肝炎（A/B 型肝炎）
ジフテリア／破傷風／ポリオ

2) イギリスでの予防接種費用（お目安）

黄熱病 £45

A 型肝炎	£ 42
B 型肝炎	£ 28
腸チフス	£ 26
ジフテリア・破傷風・ポリオ用	£ 23

注1! ジフテリア／破傷風／ポリオは、日本では幼少の頃に済まされている方がほとんどです。予防接種記録が記載されている母子手帳をご持参の上、これらの予防接種の効力が有効か否かを医師と相談して下さい。

注2! インド派遣希望の方は、アフリカ派遣の場合に必要な予防接種と若干異なります。インド滞在者のための必須予防接種は常時、変更となります。下記の 1st Contact ウェブサイトから常時チェックして下さい。なお、アフリカ派遣希望の方も下記ウェブサイトがご利用いただけます。

○1st Contact (英語) 【http://www.1stcontact.com/live/index.php?Item_ID=5164】

Section 5 - 学習システム・コンピューター・修了証書

CICD の学習システム -DMM Study-

CICD では DMM 学習と呼ばれる教育制度をとり、この学習方法を通して参加者の学生に「自分で学ぶ力」を身につけてもらいます。したがって、日本の高校・大学とは異なり、指導教員が毎回にわたって講義・プレゼンテーションを行うのではなく、学生が主体となって学習する「DMM 学習」を取り入れています。

DMM (The Modern Determination of Methods) とは、各コンピューターに用意された学習用のデータ・ベースのことです。DMM には約 10,000~15,000 の学習課題が用意されており、各課題はレベル 1-12 にわかれていますので、学生は自分の能力やペースに応じて学習することが可能です。

CICD には、様々なバックグラウンドをもつ学生が集まるため、各個人の得意とする科目、知識・学習レベルが異なります。例えば、国際政治・経済、貧困問題や HIV/AIDS などの国際開発について専門的知識をすでに備えている方と、そうでいない方がいます。また、ボランティア活動を行う派遣国やプロジェクトが異なるため、各個人の必須学習課題が異なります。そのため、CICD では、各個人が自分の学習レベルにそった学習をすることが可能なように、この DMM 学習を取り入れています。

※DMM 学習の詳細については、別冊「国際ボランティアプログラム」をご参照下さい。

コンピューター&IT -Computers & IT-



1) コンピューター

学生はプログラム開始と同時に各 1 台のコンピューターが与えられ、各コンピューターはネットワークとインターネットに結ばれています。

各コンピューターはデータ・ベース (DMM) とシェア・ファイル (チーム・メートと写真やファイルなどを共有し、自由に閲覧することが可能なもの) にアクセスすることが可能です。また、ワードをはじめとする文書処理ソフト、メール、MSN メッセンジャーやスカイプなど、その他の機能を利用することが可能です。

注! ノートパソコンをご持参された方は、こちらに全てを接続することが可能です。

2) ユーザー名とパスワード

プログラム開始と同時に、各コンピューターのユーザー名とパスワードを担当者から受け取ります。このユーザー名とパスワードは、あなたがプログラム期間中に必要とする、全てのコンピューティング装置へのアクセスをするために必要となるものでもあります。

学校のサーバーによって、あなたは DMM データ・ベースにアクセスすることが可能です。私たちのオンライン・コレクションはこの DMM を通じてアクセスすることが可能であり、この DMM には全てのテキストのジャーナル、E-Book、新聞、何千ものジャーナル記事への言及と役に立つウェブサイトのリンクが含まれています。

3) 利用規約

CICD では、コンピュータは主に学習目的のために使用されます。しかし、あなたが法律を少しでも破らないならば、自由時間にメール・チェックやインターネット利用、その他の意図のためにコンピューターを使用することは十分可能です。

ファイル・シェア・サービスの使用、著作権で保護されたもの/不法になるもののダウンロード、おいせつなものへのアクセスなどの使用ははっきりと禁止されており、CICD ではこれらを厳しく取り締まっています。

4) 無線 LAN 使用

ノート・パソコンをお持ちの場合には、スクール・ビルディングにて CICD の無線 LAN に接続することが可能です。しかし、これには IT 担当者の許可が必要となり、上記の規則を守る学生のみに与えられます。

注! 2009 年現在、学生に無線 LAN の使用許可はおりていません。

修了証書 -Diplomas-

修了証書は、各プログラムのセクションを終えた時点で発行されます。つまり、ガイアプログラム参加者はその修了証書が終了時に、Development Instructor プログラム事前研修の修了証書がアフリカ/インド派遣前に発行されます。

アフリカ/インドでのボランティア活動期間中の修了証書は、現地の Humana People to People から発行されます。また、事後研修を終えた方にはこちらの修了証書も発行され、別途にプログラム 14 ヶ月期間の修了証書を取得することも可能です。

Section 6- 連絡先

CICD スタッフ:

学校長	Karen Barsoe	: KarenB@cicd-volunteerinafrica.org
DI 指導教員	Karin Overgaard	: Karin@cicd-volunteerinafrica.org
DI 指導教員	Åsa Niklasson	: Asa@cicd-volunteerinafrica.org
IT 責任者	Antonio Pereira	: condinhocicd@hotmail.com
ガイア指導教員	Wendy Dunnett-Dagg	: Wendy@cicd-volunteerinafrica.org
広報責任者	Marie Farell	: marie@cicd-volunteerinafrica.org

電話番号:

School office (Jan): +44 1964 631824

School office (Marie): +44 1964 631826

※電話は 24 時間受け付けておりますが、緊急事態以外はイギリス時間の午前 8 時～午後 8 時の間にお掛け下さい。

住所:

Winestead Hall

Patrington

Hull

HU12 ONP